

# 671<sup>st</sup> ASRC Seminar (1)

Date: Monday, March 13, 13:30 ~15:00

Location: Room 302, ASRC bldg.

Speaker: 村野井友  
東北大学大学院理学研究科

Title: セシウムの栽培キノコへの移行と培地中での存在形態

福島第一原子力発電所事故により多くの放射性セシウムが放出され、福島県を中心に広範囲が汚染された。キノコは特にその影響を受けている。我々は、キノコ栽培において、培地からキノコへのセシウムの移行の低減化を進めてきた。本研究では、伐採時期の異なる培地の洗浄試験と、それらの培地を使用して栽培したキノコの移行係数の測定から、培地中のセシウムの存在形態と実際にキノコに移行するセシウムの相関を調べた。培地を超純水で洗浄し、濾過された水溶液に含まれているセシウムを水溶性セシウムとした。水溶性の安定セシウムの分配比は、伐採時期の異なる培地で変化は無かったが、放射性セシウムでは分配比は新しい培地の方が大きくなっていった。つまり、伐採時期の新しい培地の方が、放射性セシウムがより抽出されやすくなっていると考えられる。このことより、新しく伐採された培地を使用して栽培されたキノコの移行係数も上昇すると予想でき、現在、新しい培地を使い数種類の栽培キノコを収穫したところである。乾燥後、移行係数を順次測定し、セシウムの分配比と移行係数の関係を明らかにする。また、培地用の材木の半径方向の放射能濃度と安定セシウム濃度を測定し、材木中でのセシウムの挙動についても検討した。

<Contact>

永目諭一郎 (81-5416)